



炭 竈 ふく代 議員

## 携帯電話メールを活用し 不審者情報の配信を

### 質 炭竈議員

通学安全対策について

(1) 防犯対策に関する正確な情報を迅速に提供するため、携帯電話のメール機能を活用する自治体が増えており、愛知県警も6月から「パトネットあいち」の名称で、登録された住民へ不審者情報を配信する事業を始めています。

当市でも、学校・児童生徒・保護者・警察等との連絡を密にし、仮称「メール情報やとみ」を実施してはいかがですか。  
(2) 県の事業として、当市でも全小学校区にスクールガード(学校安全ボランティア)が配置されていますが、活動内容を具体的に教えていただけませんか。  
また、今後もスクールガードを養成・増員する考

えはありますか。

(3) 通学路で、幅員が狭い道路、交通量が多い場所などの危険箇所や、事件・事故が発生しやすい公園・空き家、また110番の家がどこにあるのかなど、児童が実感をもって理解できるように、全小学校で通学路安全マップが作成されていると聞いています。

作成に当たって、具体的にどのような取り組みがされていますか。  
(4) 4月から小学1・2年生に防犯ブザーが配布されました。  
以前には全児童にホイッスルも配布されていますが、児童が常時携帯しているのか、すぐに使用できるのかなど、定期的なチェックや指導はしていますか。

## 同報無線の活用も 視野に入れている

### 答 池田教育長

(1) 携帯電話のメール機能は、迅速な情報の共有化の面で有効ですが、個人情報保護の問題や携帯電話を持たない世帯への情報提供などに問題があります。

迅速かつ正確な情報提供ができるよう、すでに実施している団体の成果・課題なども参考にし、現在、実施設計中の同報無線の活用も視野に入れながら取り組んでいきます。

なお、市内や近隣市町村で事件が発生したり不審者情報があったときは、すぐに蟹江警察署から学校・教育委員会に情報が入ることになっています。

(2) スクールガードには現在80人ほどが登録していただいております。下校時の付き添い、声掛け、通学路の巡回パトロールを行っていただいております。

今後も、P.T.Aを中心に輪を広げていただくよう努力してまいります。

(3) 16年度・17年度に各小学校で、児童が自分たちの目で通学路の安全点検を実施し、危険箇所等を確かめながら通学路安全マップを作成しました。

今年度も、作成済みのマップに新たな危険箇所等を書き入れるなどして、ほとんどの学校が玄関付近に掲示し活用を図っています。

(4) 各学校で、防犯ブザーの訓練や必ず持ち歩くように指導しており、特に学期始めや終わりなどには徹底を図っています。



▶防犯ブザー